

---

主しゅがあなたを祝福しゆくふくし、あなたを守まもられるように。

主しゅが御顔みかおを向むけてあなたを照てらし、あなたに恵めぐみを与あたえられるように。

主しゅが御顔みかおをあなたに向むけて、あなたに平安へいあんを賜たまわるように。

— 民数記みんすうき 6章しちやう —

---

2010年 春

自分と同じ干支の人たちなので、近く感じた分だけ、遠かった。でも、親しく思っていた。

おとなしいのは、恥はずかしことでない。静かなのは、人をつつんで人を生かすこともある。

これからは、毎日の目の前から、たがいの姿が見えなくなるのは、さみしいこと。

でも、終わったことに手は加えられない。まだ見ぬ未来を手にはいれられない。

じぶんにできること、じぶんが手にしているのは、今というときだけ。

今、何をしたいか、何をするか、それだけがじぶんを生かしている。

だから、生きて生かされていることの感謝を忘れずに、忘れかけてもふり返り、

今というときを、精一杯の、ていねいに、大切に生きていきたいと思う。

誰にもそれは同じ。

何があっても、何にぶつかっても、あなたの足もとを見ると未来がある。

岡本知高さんといっしょに歌った皆さんへ。

キロロの「未来へ」をプレゼントされた皆さんへ。

(国語科 高橋 覚)